

一般質問発言通告書

議席番号 22 番 氏名 牛尾 昭

答弁を求める者

(○をつける)

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市世界こども美術館の持続化について

①10 月に開催された「はまだ市民一日議会」において、世界こども美術館の存続と収益改善につながる素晴らしい提案があった。1. 施設利用が土日祝日に集中していて平日が少ない。2. 利用者が広島市、出雲市、浜田市内の順である。3. 飲食の利用ができない。という 3 つの現状を踏まえ、スターバックスの誘致を提案するというものであった。スタバができると、大学生や子ども連れの若い夫婦の平日利用が増え、入館料を有料にしてスタバ利用者を半額引きにすると入館者増につながる。現在、入館者 5 万人のうち 3 万人が大人で一人 100 円いただくと 300 万円、200 円だと 600 万円になる。スタバ誘致の理由については、1. 若い人たちの圧倒的な支持がある。2. スタバの人材教育が素晴らしい。3. 誘致の可能性があり、全国的に見れば人口 5 万人の都市に進出店舗の実績がある。という 3 つの理由をあげられていた。この施設の維持は、子どもたちの未来に大きく貢献すると思うとの提案であるが、市長の見解を伺う。

②世界こども美術館への浜田郷土資料館の複合化（併設）について、現状の考えを伺う。

2. 水産業振興について

(1) 産業建設委員会の行政視察を終えて

先般、産業建設委員会で富山県氷見市にある県の栽培漁業センターを視察した。昭和 53 年開設で令和 4 年に国の交付金制度を利用して、12 億 3 千万円をかけて再整備されたものである。敷地内は、1800 m²、交流館とふれあい館があり、当初計画は年間 1 万人を見込んでいたが 5 万人の入込客がある。現在の栽培漁業対象魚種は、ヒラメ 18 万尾、アワビ 10 万個、チヌ 22 万尾、クルマエビ 45 万尾で、キジハタは令和 7 年以降事業化を検討、実習室では、氷見高校生がウニを野菜で育成している。なお、滑川市の栽培漁業センターでは、平成 25 年に世界で初めて、ノドグロの稚魚の育成に成功している。平成 27 年から、試験的な放流開始、平成 29 年から国の委託事業として研究を継続中である。

①浜田市はマルハニチロと共同で瀬戸ヶ島での養殖事業化を計画しているが、なかなか進んでいないように感じる。富山県において、令和4年からマルハニチロと三菱商事はサーモン養殖に取り組んでいる。今回は訪問できなかったが、養殖が立地産業と言われている今日、例えば、瀬戸ヶ島で高級魚ノドグロの養殖をマルハニチロに依頼してみてはどうかと思うが所見を伺う。

②昨今、地球温暖化で魚種が大きく変わりつつある。本カツオやサワラなどもそうである。今後は、どこかの二番煎じではなく、南の魚、例えば、アカハタなどの高級魚の種苗生産や養殖にマルハニチロと組んで取り組んでみてはどうかと思うが所見を伺う。

③エサやり水槽でキジハタ（アカミズ）の4年ものが泳いでいた。富山県では、キジハタの評価が高くなく、放流事業をしていないそうである。わけてもらうことが可能かと聞くと、1尾当たりの単価を決めていないとのことであった。是非、放流事業に高級魚のキジハタを加えてみてはどうかと思うが所見を伺う。

(2)はまだお魚市場について

7月30日で境港さかなセンターが事業停止して、10月18日に自己破産申請し、負債総額が10億円と聞いている。浜田市は大丈夫かとよく聞かれることがあり、以下質問する。

①はまだお魚市場の経営状況について伺う。

②入居者の仲買人の経営状況について伺う。

③入船のない日を解消してほしいという要望があるが、ポートセールスの現状について伺う。

④どんちっちアジが不漁で、同じ網のアジの中に、脂のりのばらつきがあり、消費者からクレームがあり、ブランド見直しの声があると聞いているが、現状について伺う。

⑤浜田商工会議所などから、新たなブランド開発の要望書が出ているが、産・官・学で令和のブランド開発研究会（仮称）を立ち上げてはどうかと思うが所見を伺う。